

単施設研究用

## 脳神経外科および整形外科における CT ミエログラフィーの不完全髄注に関する後ろ向き調査

### 1. 研究の対象

2012 年 1 月 1 日から 2025 年 5 月 15 日までの期間で高知大学医学部附属病院の脳神経外科および整形外科で CT ミエログラフィーを実施された方

### 2. 研究目的・方法

#### 【目的】

脳脊髄液減少症の主な原因は、硬膜の損傷によって脳脊髄液が断続的に漏出することにあります。脳脊髄液の漏出は硬膜嚢の虚脱を誘発すると考えられます。健常者では、脳脊髄液はくも膜と硬膜からなる二重構造の袋内に存在し、圧力は 10~20 cmH<sub>2</sub>O 程度です。通常の CT ミエログラフィーにおける腰椎穿刺では、この二層構造を一度に貫通し、くも膜下腔に造影剤が注入されます。しかし、硬膜嚢が虚脱した状態では、くも膜と硬膜の隙間に造影剤が入り込むケースが生じやすいと考えられます。この現象は、脳脊髄液の漏出および硬膜嚢の虚脱を示唆する所見として、診断に寄与する可能性があり、今回の調査ではこの点に注目します。

#### 【方法】

情報センターへ作業要求書を提出し、対象となる患者さんのリストを取得します。その後、該当患者の CT ミエログラフィー画像を精査します。

研究期間：倫理委員会承認日～2026年12月31日

### 3. 研究に用いる情報の種類

2012 年 1 月 1 日から 2025 年 5 月 15 日までの期間で高知大学医学部附属病院の脳神経外科および整形外科で取得された CT ミエログラフィーのデータのみを利用します。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部脳神経外科学講座 研究責任者 中居 永一  
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1  
TEL 088-880-2397  
FAX 088-880-2400  
e-mail [enakai@kochi-u.ac.jp](mailto:enakai@kochi-u.ac.jp)

研究責任者：高知大学医学部脳神経外科学講座 中居 永一

-----以上